

新しい介護支援ビジネス創出研究会

介護現場のニーズを活かした「ポジティブ発想」で 新しいサービスや機器・システムの創出を企画する実践講座

高齢者介護市場は、ユーザーニーズが多種多様であり、「介護」というとネガティブなイメージがもたれています。又、商品やサービスも不満解消型の傾向があり、販売方法も限定された市場であるため、専門性の高い限定されたハードルの高い市場とみなされてきました。

今までの概念を発想転換して、「介護される人もする人も共に楽しく・生活の質を向上する」という視点で「衣」「食」「住」の商品やサービスを考えると、新しい分野が広がる可能性があります。

そこで、今回、京都市と(公財)京都高度技術研究所の主催により、当該市場での新しい事業モデルを創出するための研究会を企画しました。

この市場で活躍している実践者や、企業のケーススタディ等を通して、ニーズの把握方法と新ビジネスを企画開発するためのビジネスのアプローチ方法について、全4回の実践講座を開催します。

高齢者介護市場での新しいビジネスを発見しませんか・・・多数の企業様のご参加をお待ちしています。

対象

介護福祉分野への参入を
目指すものづくり等企業

定員

25名

参加費

無料

※申込多数の場合は4回連続で参加される方を優先させていただきます。
※1社で複数名の参加申込みは、1名に限らせていただく場合があります。

■開催日時と内容

高齢者介護市場で活躍している講師から、ニーズの把握方法と新しいビジネスのアプローチ方法についての講演を行った後、ファシリテーターによるビジネス化ディスカッションを通して交流をしていただきます。

【ファシリテーター】大木 香一郎 (公財)京都高度技術研究所(ASTEM)地域連携マネージャー

第1回 1月16日(木) 13:30~17:00

★オープニングセミナー／介護現場の実態とビジネス開発方法

- ①団塊世代のライフスタイルとニーズを探る 岡本 弘子氏 (シニアの暮らし研究所)
- ②介護ビジネスを取り巻く環境の変化と動向 柴本 美佐代氏 (日本エルダーライフ協会)
- ③高齢者支援の新しいビジネスの企画開発・発想方法 大木 香一郎氏 (京都高度技術研究所)

第2回 2月7日(金) 13:30~17:00

★高齢者の住まい環境とコミュニケーション機器

- ①高齢社会の住まいの動向と支援設備について 長嶺 堅二郎氏 (京都高度技術研究所)
- ②高齢者支援のICTシステムの提案 松本 敏氏 (デイコールサービス協会)
- ③地域密着型高齢者支援システムと新サービス動向 出合 哲雄氏 (CSねっと企画)

第3回 2月19日(水) 13:30~17:00

★高齢者のメンタルヘルスケアと防災支援

- ①高齢者のメンタルヘルスケアとソフト開発の可能性 垣内 イスズ氏 (けあ人財アカデミー)
- ②お節介士による介護者目線の「おしゃれニーズ」とビジネス提案 柴本 美佐代氏 (日本エルダーライフ協会)
- ③新しい発想による高齢者の支援ニーズと防犯&防災支援について 堀 清和氏 (臨床福祉学博士)

第4回 3月5日(水) 13:30~17:00

★高齢者の元気支援サービスと機器

- ①京都のおもてなしに役立つ高齢者コミュニケーションについて 松浦 敦子氏 (PORO)
- ②介護予防のためのレクリエーション機器開発のヒント 堅本 盛行氏 (全国レクリエーション・コーディネーター・ネットワーク)
- ③暮らし情報によるヘルスケア支援ビジネスについて 大木 香一郎氏 (京都高度技術研究所)

場所

第1回・第2回: 京都リサーチパーク KISTIC棟2階 イノベーションルームA
第3回・第4回: 京都リサーチパーク 1号館4階 中会議室A
(京都市下京区中堂寺南町134番地)

申込方法

Web申込みフォーム又は裏面申込書に記入のうえFAXでお申込み下さい。
URL: <http://www.astem.or.jp/biocity/>

ビジネスマッチング
交流会・講演会
3月中旬開催予定

■ プログラム詳細 (45分間の講義+15分間のビジネス化ディスカッション)

第1回 1月16日(木) 13:30~17:00 ★オープニングセミナー／介護現場の実態とビジネス開発方法

① 団塊世代のライフスタイルとニーズを探る …………… 岡本 弘子氏

団塊世代による大介護時代を迎え、多様な価値観を持つその世代のライフスタイルやニーズはこれまでと違ったハード・ソフト・サービスが要求されることは必至です。施設入居相談経験を踏まえて、様々な商品・サービス開発の糸口を探ります。

② 介護ビジネスを取り巻く環境の変化と動向 …………… 柴本 美佐代氏

大介護時代の到来により、介護ビジネスを取り巻く制度などは転換期を迎えています。一部サービスの事業主体が変わるなど、業界参入のために知っておきたい制度の知識と業界の変化についてご紹介します。

③ 高齢者支援の新しいビジネスの企画開発・発想方法 …………… 大木 香一郎氏

介護ビジネスに新規に参入するためには市場のニーズをどの様に掴んで商品やサービスに変換したらよいか、どの企業とコラボレーションしたらよいか、どの様に販売してゆか、商品企画からマーケティングまでのビジネス視点のヒントを提供します。

第2回 2月7日(金) 13:30~17:00 ★高齢者の住まい環境とコミュニケーション機器

① 高齢社会の住まいの動向と支援設備について …………… 長嶺 堅二郎氏

高齢者の住まいは現在、特別養護老人ホームを始め有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅など20種類以上あります。個人住宅も含めてその住まい方、暮らし方を理解いただき、そこで使用される支援機器の実態やニーズを解説します。

② 高齢者支援のICTシステムの提案 …………… 松本 敏氏

IT技術の進展により「人間よりも機器頼み」のコミュニケーション社会になっており、孤独死など様々な問題が発生しています。現行のITシステムを改善して、高齢者や災害弱者等の、人の安否確認等ができるコミュニケーション方法による「IHCT」社会の創出を提案します。

③ 地域密着型高齢者支援システムと新サービス動向 …………… 出合 哲雄氏

従来の「人が施設やケアに合わせる」から「ケアを人に合わせる」、身体状況の変化にあわせて必要なサービスを地域資源の中で組み合わせて利用する傾向になっています。介護サービスの充実、医療機関との連携による24時間対応の在宅医療、住まいの整備など今後の対応方向を提案します。

第3回 2月19日(水) 13:30~17:00 ★高齢者のメンタルヘルスケアと防災支援

① 高齢者のメンタルヘルスケアとソフト開発の可能性 …………… 垣内 イスズ氏

昨今、急激に増えつつある高齢者や介護者、介護スタッフのうつ症状や情緒不安定などのメンタルヘルスケアの実態について把握し、これらを早期改善へ導くメンタルヘルスケアサポートシステムのソフト開発のためのヒントを提案します。

② お節介士による介護者目線の「おしゃれニーズ」とビジネス提案 …………… 柴本 美佐代氏

介護者支援の活動として、介護者と要介護者の両方が楽しくなる、介護者と要介護者をモデルとしたファッションショーなどを通して、そこから見えてきた介護者目線のおしゃれニーズから、介護分野の楽しいアパレル・ビジネスなどを提案します。

③ 新しい発想による高齢者の支援ニーズと防犯・防災支援について …………… 堀 清和氏

高齢者・障がい者と支援者が求めている支援ニーズや見落とされがちなニーズを多角的に取り上げ、特に生活弱者の方々の防災支援から日常生活にも活用可能な災害への備えや生活安全を高めるためのアイデアを提案します。

第4回 3月5日(水) 13:30~17:00 ★高齢者の元気支援サービスと機器

① 京都のおもてなしに役立つ高齢者コミュニケーションについて …………… 松浦 敦子氏

単なるサービスではなく、ホスピタリティとして普遍性をもつ「おもてなし」。高齢者コミュニケーションの極意を学ぶことで、京都の奥義といえる「おもてなし」にさらに磨きをかけ、介護支援サービスにおける新たなビジネスの可能性を探ります。

② 介護予防のためのレクリエーション機器開発のヒント …………… 堅本 盛行氏

高齢者の認知機能や身体の衰えを軽減するレクリエーションとして、様々な身近にあるものを利用して行う生活機能訓練グッズを実践にて紹介し、広く高齢者施設等に生活リハビリを支援する機器(グッズ)新商品開発の可能性を探ります。

③ 暮らし情報によるヘルスケア支援ビジネスについて …………… 大木 香一郎氏

高齢者の最大の関心事は「健康」な暮らしで「長生き」できることです。暮らし情報による高齢者の自立支援サービスなどについて、機器とサービスのビジネスモデル及び関連する企業とのコラボレーション方法等について提案します。

■ 講師紹介 (敬称略)



岡本 弘子 (シニアの暮らし研究所 代表)

住宅メーカーで8年間、生活研究に従事。2004年から有料老人ホーム・高齢者住宅の紹介センターでお客さま相談室長として1万件以上の入居相談に対応。2009年7月「シニアの暮らし研究所」を創設し、新聞、雑誌等の取材や執筆を行い、2012年1月「岡本弘子の入居相談室」を開設、個別の入居相談も行っている。消費生活アドバイザー、福祉住環境コーディネーターの資格を持つ。



柴本 美佐代 (一般社団法人日本エルダー協会 代表)

2001年から在宅介護支援センターで3年間勤務。介護者への制度知識の普及サービス情報提供の必要性を感じ介護者支援の活動を開始。2012年一般社団法人日本エルダーライフ協会を設立し、介護者目線での制度の解説、介護する人に必要な暮らしの情報などを提供する「お節介士(ケアライフサポーター)」の認定資格を創設し、養成講座を行っている。現在までの認定者46名、修了者38名。京都新聞「40歳からの介護保険」2012年4月～7月連載。福祉住環境コーディネーター・ファイナンシャルプランニング技能士・宅地建物取引主任者。



長嶺 堅二郎 (公益財団法人京都高度技術研究所 地域連携マネージャー)

パナソニック電気(株)出身。現在、高齢者住宅関連のコンサルティングやスタッフ研修、講演、執筆活動を行い、大阪市立大学大学院非常勤講師、全国有料老人ホーム協会・大阪府地域福祉推進財団研修講師、日本応用老年学会・日本エルダーライフ協会理事を務め、福祉サービス第三者評価調査者、ライフサポートアドバイザーの資格を持ち、高齢者サポートネットワークCSねっと企画合同会社代表を務める。



松本 敏 (NPO法人デイコールサービス協会 理事長)

東洋テック(株)出身。1970年11月から松下電器創業者、故松下幸之助氏の奥様(むめの様)の身辺警護を18年間担当。外敵から身を守れても病気にに対しては全く無力であることを痛感し、在宅医療関連事業を開始。1990年旧厚生省長寿科学総合研究事業参加。1995年枚方市でデイコール問診モデル事業実施。1999年NPO法人デイコールサービス協会設立。2010年認知症予防・孤独死防止セミナー開催、2012年龍谷大学大学院政策学研究科社会人院生として修士課程を修了し、政策学研究科特別専攻生として、在宅で最期を迎えるため「人の命」への「危機管理能力」養成講座を開講。2013年9月「経営の神様の奥様(松下むめの様)没後20周年追悼記念」セミナー開催。



出合 哲雄 (CSねっと企画合同会社 副代表)

(株)神戸製鋼所で主に鉄鋼製品の輸出営業を担当後、1997年に神鋼ケアライフ(株)に入社。翌年より同社介護付き有料老人ホーム「ドマーニ神戸」支配人として運営、経営に携わり、その後集客、入居促進などの販売企画業務を務める。1998年に全国有料老人ホーム協会近畿連絡協議会の設立に携わり、幹事長を務める。集客セミナーや事例研究の企画、近畿地区のホームのスタッフのスキルアップのための研修を実施。各介護施設でスキルアップ研修講師を務める他、運営コンサルティングを行っている。



垣内 イズズ (けあ人財アカデミー合同会社 代表)

パナソニックエイジフリーサービス(株)出身。同社で介護付き有料老人ホーム2施設の開設、高齢者専用賃貸住宅の企画・開設に携わり、営業部長・施設長・人材育成研修責任者を務めた後、2013年5月独立。けあ人財アカデミー合同会社を設立、同社代表をつとめ、介護・高齢者事業向けの人材育成とメンタルヘルスクアをライフワークとして取り組んでいる。NLPマスタープラクティショナー、個性心理学認定講師、メンタルヘルスマネジメントⅡ種、第1種衛生管理者、健康生きがい作りアドバイザー、ライフサポートアドバイザーの資格を持つ。



堀 清和 (臨床福祉学博士)

関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科修了、臨床福祉学博士。

音楽大学で音楽学を学んだ後、大学院に進学し音楽療法や健康教育、安全教育の研究に取り組む。高齢者、障がい者・子どもの音楽療法、防災・防犯教育、安全教育の研究・実践活動を行うとともに、高齢者を対象とした傾聴活動も展開している。(独)科学技術振興機構「犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発」プロジェクト実施者(2007～2010年)。東北大学災害科学国際研究所特定プロジェクト研究「発達障害を持つ子のための防災対策および防災教育」研究代表者(2012～2013)。安全教育・防災・防犯教育に関する論文多数。研究や実践で蓄積した知識、経験を基に講演を行う。



松浦 敦子 (PORO代表、ライター・プランナー・コーディネーター)

高齢者や高齢者施設等での傾聴活動や、高齢者やご家族に役立つ情報の提供・出版物の制作をはじめ、行政や有料老人ホーム、高齢者住宅会社等の依頼でセミナー講師を務める。2012年にPOROを立ち上げ、シルバー業界をはじめ、障がい者や子ども、外国人とその支援者に対し、安全で安心できる生活に必要な情報および支援を提供している。



堅本 盛行 (公益財団法人全国レクリエーション・コーディネーター・ネットワーク 会長)

(株)東芝出身。レクリエーション関連のエキスパート。大阪、北大阪、大阪摂津、藍野の各医療・福祉専門学校及び奈良県立大学、龍谷大学の非常勤講師として勤め、現在は関西大学非常勤講師、NPO法人大阪府高齢者大学校、大阪ユースホステル協会の各理事を務め、全国レクリエーション・コーディネーター・ネットワーク会長。ヘルスケアリーダー、レクリエーション・コーディネーター、グループレクリエーション・ワーカー、GWTグループワークトレーナー、大阪府青少年カウンセラー、独創力開発訓練トレーナー、日本ボーイスカウト指導者等の資格を持ち、各方面で講師として活動。

<講師・ファシリテーター>



大木 香一郎 (公益財団法人京都高度技術研究所 地域連携マネージャー)

パナソニック電気(株)で、健康事業及びエイジフリー事業の企画及びマーケティングを担当。2004年独立、ウエルネス・フロンティア株式会社代表取締役を務める。サステナブルビジネス及びヘルスケアビジネスのプラットフォーム会社として、そのビジネス創出の産官学のコーディネート活動を推進。ヘルスケアビジネスからその上位概念である「循環型社会」のビジネスのプロデュース活動に注力している。

新しい介護支援ビジネス創出研究会 参加申込書

(公財)京都高度技術研究所 連携支援グループ 行

FAX:075-925-5491

氏名		メール	
会社名		電話番号	
住所	〒		
参加日	参加される回に「○」をつけてください。 (※申込多数の場合は4回連続で参加される方を優先させていただきます。) (※1社で複数名の参加申込みは、1名に限らせていただく場合があります。)		
	第1回(1/16)	第2回(2/7)	第3回(2/19) 第4回(3/5)

個人情報の取扱いについて	<input type="checkbox"/> 同意する	下記「個人情報の取扱いについて」に同意いただける場合は、チェックをお願いします。
--------------	-------------------------------	--

<個人情報の取扱いについて>

1.個人情報の利用目的

本申込書にご記入いただきました貴殿の個人情報は、主催者で管理させていただきます。本研究会の運営にかかわる資料の作成、事業終了後のアンケート調査、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催または共催・後援する催事のご案内に利用させていただきます。

2.個人情報の提供について

本事業は国及び京都市の補助事業であり、事業実施報告のためご氏名・ご所属を経済産業省近畿経済産業局及び京都市に提供することがあります。

3.個人情報の委託について

第三者に貴殿の個人情報を委託することはありません。

4.開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続により、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。下記の問合せ先へご連絡ください。

5.個人情報提供にあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本研究会への参加をお断りする場合があります。

6.個人情報保護管理者とお問合せ先

<事業者の名称>公益財団法人京都高度技術研究所
<個人情報保護管理者>総務部長
<窓口>総務部

所在:京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-315-3625(代) / FAX:075-315-3614
URL: <http://www.astem.or.jp>
※電話受付時間は、平日(月～金※祝祭日を除く) 9:00～17:00まで。

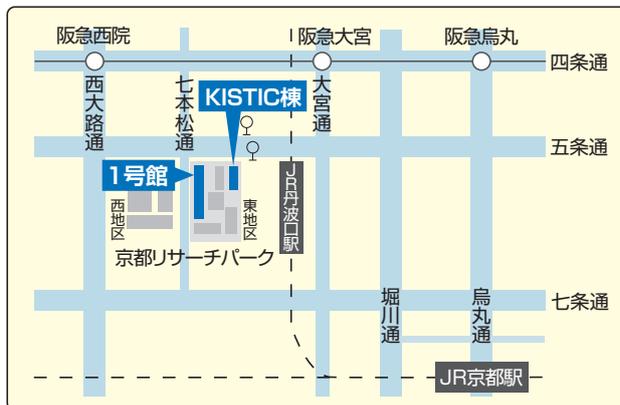
※財団の個人情報保護方針の詳細は、
<http://www.astem.or.jp/privacypolicy> でご確認ください。

参加申込締切: 1月9日(木)

定員に満たない場合は第2回以降も随時受け付けます

【会場へのアクセス】

- JR線 嵯峨野線丹波口駅下車 徒歩5分
- 市バス 京都リサーチパーク前下車 徒歩3分



お問合せ先

公益財団法人京都高度技術研究所 産学連携事業部連携支援グループ (担当:内海)

TEL:075-315-6736 FAX:075-925-5491 E-mail: biocity@astem.or.jp